

2025 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	中嶋 奈津子
研究テーマ	神楽の継承と伝播の研究—なぜ、早池峰神楽は継承できたのか—
研究概要	岩手県花巻市の早池峰神楽（岳神楽・大償神楽）の近現代における継承と伝播の課程を明らかにし、かつ長期に渡り神楽の存続を可能とした伝承システムを解明する。さらに他流の神楽と比較することで、岳神楽や大償神楽を伝播の頂点とする従来の「早池峰神楽」像を再考するとともに、盛岡藩領における修験系神楽の広がりを解明する。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>本研究の目的は、①岩手県花巻市大迫町の早池峰神楽（岳神楽と大償神楽の総称）の近現代における継承と伝播の過程を明らかにし、かつ長期に渡り神楽の存続を可能とした伝承システムを解明すること、②岳神楽と大償神楽を伝播の頂点とする従来の「早池峰神楽」像を再考し、盛岡藩領における修験系神楽の広がりを解明することにある。令和7年度は新たな課題として、早池峰神楽と同様に江戸時代に成立して盛岡藩領内に伝承される修験系神楽と社人による神楽（大宮神楽・多賀神楽：岩手県盛岡市）について調査を実施し、江戸時代の演目や舞台構成、担い手の変遷、伝播の状況などの比較と検討を行なった。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>〔論文等〕</p> <p>単「岩手県盛岡市土淵地区に伝承される「さんさ踊り」について」『佛教大学総合研究所紀要』第33号、研究ノート、pp. 49～58 佛教大学総合研究所（2026年3月査読有）</p> <p>単『盛岡市文化財シリーズ第四十八集 南部家と神楽-多賀神楽と大宮神楽』 pp. 1～53 盛岡市教育委員会（2026年3月、査読有）</p> <p>〔発表〕</p> <p>①「大迫町外川目地区における早池峰系神楽の伝播について」東北民俗の会 令和7年度4月例会 2025年4月19日 戦災復興会館</p> <p>②「早池峰神楽の伝播について」福島県民俗学会 令和7年度大会 2025年6月1日 郡山市労働福祉会館</p> <p>③「民俗芸能と地域文化-旧於呂閉志神社猿岩大明神の神楽について」西郊民俗談話会3月例会 2026年3月15日 東京都文京区区民センター</p> <p>（共同報告）「修験寺院に残された聖教典籍文献の整理 吉祥院調査中間報告会」</p> <p>「民俗芸能と地域文化」中嶋奈津子 2026年3月29日奥州市小山地区センター</p>
4. 今後の課題	<p>今後は、さらに早池峰山東側の地域の神楽群についての調査を実施し、これらの中での早池峰神楽の位置付けと、早池峰山麓の修験系神楽の広がりを解明する。また、県央・県北、仙台藩領の修験系神楽との比較を行い、盛岡藩領における修験系神楽の広がりを解明する。</p>